

利用・用途・応用分野

無料開放特許

電子メールシステム、プログラム、迷惑メールの処理、フィルタリング

目的・課題

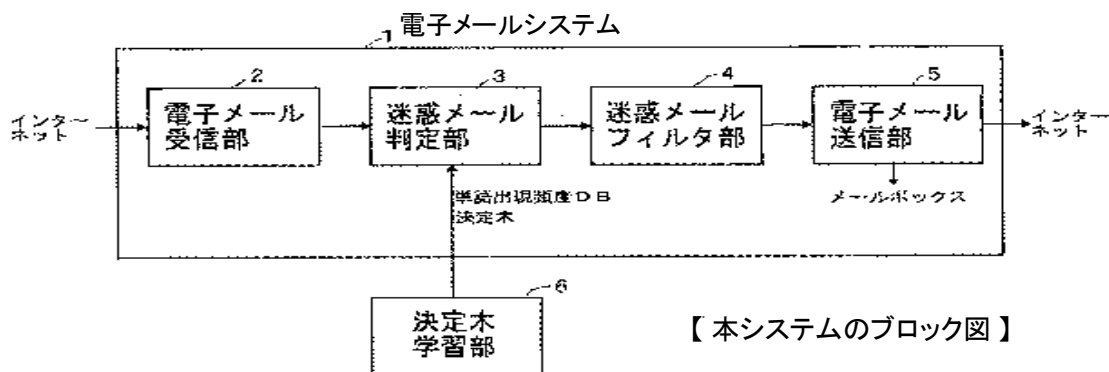
迷惑メールの割合は、全電子メール中の60%を越えると言われ、現在、迷惑メール対策としてさまざまな自動分類方法が用いられている。近年、メール本文などの単語の出現頻度による特徴を分類に役立てるベイズ理論を応用した方法が注目されているが、未だ利用者及び管理者の作業コストは大きく、分類精度も高くない。学習塾の決定木アルゴリズムを用いて、迷惑メールを正確に効率よくフィルタリングする電子メールシステムの提供を目的とする。

解決ポイント

学習型の決定木アルゴリズムを用いることで、従来のシステムに比べて、迷惑メールを正確に効率よくフィルタリングできる。また、決定木の学習及び適用の前に、電子メールを単語の出現頻度及び出現偏りに応じて符号化しておくことで、効果的に決定木の学習及び適用ができる。本発明のアルゴリズムは電子メールのヘッダ情報及び本文の両方に分け隔てなく適用でき、両方の情報を用いることでより簡単に正確に電子メールのフィルタリングが可能である。

研究概要・アピールポイント

決定木の学習には時間が掛かるが、予め生成された決定木に基づいて電子メールを分類するのは短時間でできる。本発明の決定木学習部と迷惑メール判定部とは独立して実行可能であるので、決定木を事前に学習したり決定木の学習を別サーバで実行できる。迷惑メール判定部は、既に生成された決定木に基づき電子メールを分類すればよいので、リアルタイムで電子メールのフィルタリングが可能である。



◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp